

ミッションで見つけた「英語の先生」という未来

平田●島さんが高1でカナダに短期留学したときの引率教員の一人が僕でしたね。中学生のときから留学しようと考えていたんです。

島●はい、そうです。中学1、2年生の頃は英語の課題があまりに多く、こなすだけでも大変でしたが、おかげで基礎力がついたようです。ある頃から急に英語が理解できるようになり、大好きになりました。

平田●北陸学院は英語教育に力を入れている学校なので、公立中学校に比べると英語の授業時間が多いんですよ。

島●クイズみたいな英作文添削とか、授業がとても楽しかったです。1学年1学級、3年間ずっと一緒だからみんな仲が良く、失敗しても他人の目が気にならない。授業中は質問が飛び交い、活気に満ちていました。

平田●勉強以外の中学時代の思い出は何ですか。

島●生徒会活動や学校行事、ボランティア活動などです。社会を知る機会をたくさん得られたことが私にはかけがえのない財産となりました。そのような本校の教育にひかれたことや先生と生徒の距離が近いこと、留学のこと、それに難関私立大学への指定校推薦枠が豊富なことなどから高校もミッションを選びました。

平田●カナダへの短期留学はどうでしたか。

島●わかっているはずの英語が口からなかなか出てこなくて焦りました。でも、少しずつ伝わるようになってうれしかったし、できなかったショックから帰国後は英語の授業に真剣に臨むようになりました。

平田●僕たちのねらい通りの体験をしてくれてありがとう。ショックは成長のバネになるんです。

島●それ以来、英検や進路など、しょっちゅう平田先生に相談していましたね。手が届かないように思える望みでも先生は決して「無理」と言わず、生徒の可能性を信じてアドバイスしてくださいました。そんな先生を見て私も教師になりたい、勉強する意味をきちんと生徒に伝えられる教師に、と考えるようになったんです。

平田●勉強が身に入らない時期もあったようだけど、「自分が苦しみ、頑張った経験がない教師は生徒に頑張れとは言えないよ」と助言してからの努力は見事でしたね。これからもどんどん苦労してください。そうすれば将来きっと素敵な生徒たちに出会えますよ。

島●はい、頑張ります。英語の曲を使ったり、オリジナルの教材がQRコードでダウンロードできたり、先生の授業は本当に魅力的でした。この学校で最高の先生、最高の仲間と出会えたことは私の一生の宝物です。

関西学院大学教育学部教育学科1年

島 菜々華 さん

北陸学院中学校2014年度卒業

北陸学院高等学校2017年度卒業

中高と生徒会で活躍。平田教諭に憧れ、英語教師を志す。勉強する意味をきちんと生徒に伝えられる教師になりたいと教育学部に進学。

北陸学院中学校・高等学校教諭
英語科主任

平田 純 先生

県内私立高で13年間教壇に立った後、現職に。生徒に英語の面白さを伝えたいと英語の楽曲やICTを活用、工夫を凝らした授業を実践。